

第 27 回全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

開催要項

- テーマ 明日において私立幼稚園の振興を考える
- 期 日 平成 23 年 10 月 24 日(月)・25 日(火)
- 会 場 熊本県熊本市・熊本全日空ホテル ニュースカイ
〒860-8575 熊本県熊本市東阿弥陀寺町 2 番地 ☎ 096-354-2111
※JR熊本駅東口 徒歩10分
- 対 象 私立幼稚園の設置者・園長ならびに後継者、またはこれに準ずる者
- 定 員 600名(定員になり次第締め切らせていただきます)

	12	13	14	15	16	17	18	19	20
24日(月)	受付	開会式 45	記念講演	15 被災地からの報告	15 30	30 行政報告	30	夕食懇親会	30

	9	10	11
25日(火)		研究講座	30 ※研修会終了後、自由解散

主催／全日本私立幼稚園連合会
協力／社団法人熊本県私立幼稚園連合会

【第1日】 / 10月24日 (月)

12:00~13:00 受 付

13:00~13:45 開 会 式

14:00~15:00 記念講演 「人を育てる、人に育てられる」
～柔道を通して学んだこれからの生き方～

【講師】 東海大学理事・体育学部長、認定NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長、神奈川県体育協会会長
山下 泰裕 氏

やました やすひろ / 1957年、熊本県上益城郡矢部町生まれ。

1985年4月の全日本柔道選手権優勝を最後に現役引退するまで7つの引き分けを挟み203連勝の記録を持ち、全日本柔道選手権9連覇を達成する。1984年 ロサンゼルスオリンピックでは、2回戦で軸足右ふくらはぎに肉離れを起こすも金メダルに輝いた。1984年国民栄誉賞を受賞、28歳で1985年現役を引退。1992年より、全日本柔道男子強化ヘッドコーチ、男子強化部長、強化副委員長・同連盟理事を歴任、2003年、国際柔道連盟教育コーチング理事に就任。2007年、紫綬褒章を受賞。その他多数受賞歴有り。現在は、東海大学理事・体育学部長であり、認定NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長、また神奈川県体育協会会長を兼務。

15:15~16:15 被災地からの報告

【報告者】 (社) 岩手県私立幼稚園連合会 会 長 坂本 洋 氏
(社) 宮城県私立幼稚園連合会 理事長 村山 十五 氏
(社) 福島県全私立幼稚園協会 理事長 関 章信 氏

16:30~17:30 行政報告「私立幼稚園を取り巻く現状と課題」

【講 師】 文部科学省初等中等教育局幼児教育課 課長 蝦名 喜之 氏

18:30~20:30 夕食懇親会

9:00~11:30 研究講座

1. 教育 『こども指針の検討の経過について』

国の子ども子育て新システムの策定において「こども指針」の検討が進められた。こども指針の検討に際しては、1948年（昭和23）に文部省が幼稚園だけでなく、保育所や家庭における保育の手引書を目指した試案として刊行した「保育要領」をイメージして、幼稚園、保育所、そして家庭保育を総合した子どもの育ちの指針の策定の可能性もあるが、どうであろうか。

本講座においては、まず、田中雅道理事長から国のこども指針（仮称）検討ワーキングチームの6回にわたる会議の報告をした上で、全国私立保育園連盟の研究機構から片山先生をお招きし安家周一副理事長を交えた三者で保育の現場が求め子どもの育ちの保障につながる「こども指針」のあり方について議論したい。

【鼎談】	なかはら保育園 (公社) 全国私立保育園連盟 保育・子育て総合研究機構 研究企画委員会	園長 副委員長	片山 喜章 氏
	(財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	理事長	田中 雅道 氏
	(財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	副理事長	安家 周一 氏
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会教育研究委員会	委員長	東 重満 氏

2. 振興 『幼保一体化の今後の在り方について』

いわゆる「幼保一体化」構想に関しては、平成22年9月からスタートした三つのワーキングチームにおいて討議が重ねられ、平成23年7月に「子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめ」が提示されました。この間、本連合会においては、子どもの最善の利益（子どもの権利条約第3条）を保障する観点から、学校教育法体系に位置づけられている幼児教育、幼稚園教育、私学教育の重要性を各界各方面に主張してまいりました。

多くの論点において本連合会の意見が反映されておりますが、克服しなければならない重要論点が幾つも残されております。要検討重要論点とは何か。それを克服するには、私たちは何をなすべきなのか。

パネルディスカッションを通して、参加者と共に、その核心に迫ってまいります。

【パネリスト】	文部科学省初等中等教育局幼児教育課 全日本私立幼稚園連合会 全日本私立幼稚園連合会政策委員会 全日本私立幼稚園連合会政策委員会	課長 副会長 委員長 副委員長	蝦名 喜之 氏 北條 泰雅 氏 入谷 幸二 氏 増田 修一 氏
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会政策委員会	副委員長	磯 哲也 氏

3. 経営 『メンタルヘルスの問題と人材育成の必要性』

本研究講座は、2部構成にて行なって参りたいと思う。第1部は、有村臨床心理士をお迎えし、近年問題となっているメンタルヘルス問題についてご講演いただき、そのストレス対処法についてもご説明いただく。

第2部は、離職防止について幅広い知見をお持ちのキャリア・コンサルタントの田原氏も加え、職場での対応が困難であるやメンタル不全者の対応やその傾向を探りたい。いかにして、優れた人材を自園で育て、良質な幼稚園教育と子どもたちの豊かな育ちを保障するための人材育成についてパネルディスカッションを通して考えていきたい。

第1部【基調講演】	九州大学大学院医学研究院心身医学 助教	臨床心理士	有村 達之 氏
第2部【パネリスト】	九州大学大学院医学研究院心身医学 助教	臨床心理士	有村 達之 氏
	Office E.T. キャリア・コンサルタント	キャリアラー	田原 えり 氏
	全日本私立幼稚園連合会経営研究委員会	委員長	田中 辰実 氏
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会経営研究委員会	副委員長	藤田喜一郎 氏

4. 認定こども園 『認定こども園の現状と課題』

「認定こども園」制度がスタートして5年が経過しようとしています。当初の予定では、5年を目途に見直しをするということでしたが、現民主党政権では、認定こども園制度は眼中になく「幼保一体化、こども園」構想に向けて駆け出し、今年7月には、ワーキングチームの中間とりまとめが提出され、さらに細部を詰めたくて今年度中に国会に法案提出も・・・というスケジュールであると聞いています。

しかし、私たち、本連合会は現在制度として運用されている「認定こども園」制度の見直しこそがより良い「幼保一体化」への道であると、ワーキングチームの議論の中で主張しています。

そこで、本研究講座では昨年と同様に、現在の「認定こども園」制度の問題点や非常にうまくいっている事例を報告しながら、これからの「認定こども園」の方向性を探りたいと思います。

【事例発表者】	全日本私立幼稚園連合会認定こども園対策委員会	副委員長	内野 光裕 氏
	全日本私立幼稚園連合会認定こども園対策委員会	委員	古閑 榮実 氏
【コーディネーター】	全日本私立幼稚園連合会認定こども園対策委員会	委員長	坪井 久也 氏

参加申込方法

■参加費 15,000円（資料代等）

■懇親会費 10,000円（自由参加、24日開催）

○参加を希望される方は、別添の「全日私幼連用・参加申込書」に必要事項を明記の上、平成23年9月16日（金）までに貴都道府県団体事務局に送付してください。参加費・夕食懇親会費は、「全日私幼連用・参加申込書」と同様に、貴都道府県団体事務局の指示に基づいて送金してください。

○お申込みいただいた方には、10月中旬に参加受付証などを幼稚園に送付いたします。

○参加を取り消された場合は参加費の返金はいたしません（代理参加は可）。ご欠席の方には、研修会終了後、大会関係資料を送付いたします。

○夕食懇親会費の取り消しに伴う返金につきましては、平成23年10月7日（金）までにご連絡いただいた場合に限り、全額返金いたします。

○宿泊・視察観光・JRのご案内は、「JTB用・宿泊・視察観光・JR切符のご案内」をお目通しいただき、必要事項を明記の上、直接JTBにFAXにてお申し込みください。

○宿泊・視察観光・JRの取り消しに伴う返金につきましては、JTBの規約に基づきます。

■個人情報の取り扱いについて

「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修会の参加者名簿や参加受付証等発送など、本研修会の運営・管理の目的に限り使用します。また、研修会の当日大会資料に「氏名」「都道府県名」「幼稚園名」を掲載します。なお、本研修会に関する業務を株式会社JTB首都圏法人営業新宿副都心支店に委託し実施するため、上記の目的の範囲に加え宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。

★参加の方法、研修内容は

☎ 03-3237-1080
F 03-3263-7038

全日本私立幼稚園連合会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館4階（担当：白石）

★宿泊・視察観光は

☎ 03-5949-1338
F 03-5396-8142

㈱JTB法人東京 法人営業新宿副都心支店

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14
タイハツ・ニッセイ池袋ビル7階（担当：安達・勝見）